

2014 **12/1** 月 11:40 ▶ 12:30

第4会場 ▶ パシフィコ横浜
会議センター 5階 [503]

認知症診療における ドパミントランスポーター イメージング

座長

中島 健二 先生

鳥取大学医学部医科学脳神経医科学講座
脳神経内科学分野 教授

講演1

Lewy小体病におけるDaT scan

眞鍋 雄太 先生

医療法人社団明芳会 横浜新都市脳神経外科病院
内科・認知症診断センター部長

講演2

パーキンソン症候群の診療における
ドパミントランスポーターイメージング

石井 賢二 先生

地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター研究所
神経画像研究チーム 研究部長

今回のセミナーは整理券方式となります。各日の朝に、その日に開催されるランチョンセミナーの整理券を配布いたします。配布時間につきましては、抄録集に掲載されます「参加者へのご案内」をご確認ください。整理券の有効時間はセミナー開始時間5分後をもって無効となりますのでご注意ください。

認知症診療における ドパミントランスポーターイメージング

講演1 Lewy小体病におけるDaT scan

Kosakaらによる一連の研究から、第二の認知症として認知されるLewy小体型認知症。2014年1月より基底核領域のdopamine transporterの取り込み低下を、¹²³I-ioflupane SPECTにて撮像することが可能となった。CDLB臨床診断ガイドラインの示唆的特徴にも記載されている検査であり、我が国で先行するMIBG心筋シンチグラフィとともにより精緻な診断への寄与が期待される。

医療法人社団明芳会 横浜新都市脳神経外科病院 内科・認知症診断センター部長 **眞鍋 雄太**

講演2 パーキンソン症候群の診療におけるドパミントランスポーターイメージング

ドパミントランスポーター画像は、黒質変性を感度良く検出できるので、パーキンソン症候群の早期診断に有用な診断技術である。日常診療の中でどのように用いるか、MIBG心筋シンチとの比較も含め、自験例を提示して考察する。

地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター研究所 神経画像研究チーム 研究部長 **石井 賢二**

About JCNN

日本脳神経核医学研究会について

日本脳神経核医学研究会は、日本核医学会の分科会として、脳核医学に関する基礎および臨床研究の推進とその普及をはかり、それを通じて我が国の学術文化の発展に寄与し、国民の保健と福祉の向上に資すると共に、国際協力につとめることを目的として平成12年11月3日に発足しました。

脳核医学の発展には、放射線科や核医学科において検査を実施する医師や技師に加えて、脳神経外科、神経内科、精神科など臨床診療に携わる医師、装置や医薬品の開発を行う物理工学、薬学、化学などの基礎研究者の協力が不可欠です。本研究会は、これらの学際的な領域の医療関係者や研究者を対象に、セミナーや講演会などを開催して、脳核医学の幅広い普及をめざします。また、さまざまな課題に対応するために、ワーキンググループを設置して議論を深めていく予定です。

研究会の会員相互の情報交換には、インターネットを活用して幅広く情報を提供していきたいと考えています。本研究会が主催、共催する行事や関連研究会の案内もホームページでご覧いただけます。会員が情報を共有するとともに、外部に向けて発信できる新しいタイプの研究会を指向して活動を行っていききたいと考えています。

この趣旨にご賛同いただき、脳核医学の発展のために、是非本研究会にご参加下さい。

詳しくはホームページをご覧ください。

<http://www2.convention.co.jp/jcnn/>

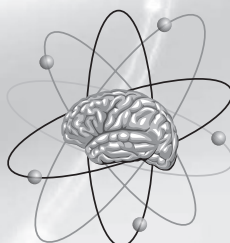
日本脳神経核医学研究会事務局

〒100-0013 千代田区霞が関1-4-2 大同生命霞ヶ関ビル18F

日本コンベンションサービス株式会社内

E-mail: infojcnn@convention.co.jp

Tel:03-3508-1214 Fax:03-3508-1302



JCNN